

シラチャ校だより

泰日協会学校シラチャ校
2024. 10. 31



シラチャ校での学習の成果と到達点を示したシラチャ祭への所感

シラチャ日本人学校 校長 藤枝茂雄

10月の期間に配付された「学級だより」や「学年だより」には、シラチャ祭での子供たちの大活躍の様子や、シラチャ祭を通じて大きく成長した子供たちへの先生方の気付きがたくさん掲載されていた。そうした子供たちの成長と、それを見守り、支える本校の教員の姿を間近に感じる場面や記録に出会うことは校長としても非常に嬉しいことである。「それぞれの子供たちに自信がついた」という担任の先生のコメントもあったが、実際に廊下などですれ違う児童生徒のあいさつの声も、いっそう元気に、大きくなったように感じている。

総合的な学習の時間は、子供たちの身近な事象への興味関心から出発する探究の時間である。この教育計画を学校として作成するにあたって、本校では、大きな枠組みとして、中学部最終学年の最高到達点の姿をイメージして、そこから下位学年に逆向き設計的に「探究する内容」（コンテンツ）と「表現の技能や思考の方法などのスキル」（コンピテンシー）を習得しながら積み上げる設計にしている。

したがって、総合的な学習の時間の初期の段階である小学部中学年などでは、内容を学年や学級である程度統一したうえで、国際バカロレア教育プログラムも参考にした、ものの見方や考え方、話し合いの仕方、クロームブックの使い方なども含めたコンピテ

ンシー（技能やスキル）レベルの取組を全体的な統一性を持たせて実施している。本校内で用いている言葉を使えば、小学部では「学級全体の最適化」を目指すことで各学年の学びの最高到達点に到達しようとしているのである。

その学びの在り方は、小学部高学年を経て中学部の上級学年に向かうにつれて、興味関心に応じたグループやペア、個人などのより小さな単位による探究学習に方向付けられていく。

中学部では、個人が自ら選択した興味関心に応じた探究学習により「個別最適化」の学びの最高到達点を目指すという形をとっている。これは、高校で必修とされている「総合的な探究の時間」も視野に入れてのことである。そういう意味では、高校籍の教員2名を擁するシラチャ日本人学校は、探究の連続的・発展的な学びを見据えた教育実践でのアドバンテージがあるといえるだろう。

それに加えて、総合的な学習の時間の成果発表の場としてのシラチャ祭が面白いのは、先生方の様々な特技を含め、持てる力が「総力戦」として存分に発揮されるという点である。今回も、学年発表の脚本を書



移民の是非をめぐるディバートの学習成果を発表する中学部の生徒の様子。ディバートの勝敗は、この後、ステージの左のスクリーンに映されたQRコードから投票フォームにアクセスした保護者端末からも行われた。（10月5日 シラチャ祭保護者観賞日）



学年団の先生が創作したシナリオの下で、自作の歌詞や曲をピアノの生演奏により、タイ語や英語を使って表現する第5学年の児童。本校のシラチャ祭で目指す「教科横断的な学びを再構成した最高到達点」の姿がよく表れている。（10月2日 シラチャ祭児童生徒観賞日）

いた先生や、子供たちの歌詞をもとに自ら作曲をして、それを子供たちによる歌唱という形で舞台発表の中で披露した先生など、日本の教育の特色である、「知・徳・体のバランスの取れた全人教育」の中で育った先生方のパフォーマンスが至る所で発揮されていた。

さらに、日本の学校教育の最も大きな特色と思われる「誰一人として取り残さない教育」が、どのクラスにも本当に良く表れていることも見逃してはならない点である。たとえば、様々な役割をすべての子供たちに与えて、会場の構造的な条件を精いっぱい利用し、誰もが保護者の前で晴れ姿を発表できるように配慮するなど、学年・学部の先生方の配慮があらゆる所に感じられた。

司会進行を児童生徒の実行委員が行ったこともそうであるし、舞台発表でいえば、小学部第三学年の舞台の「そで」とステージ両脇の出入り口をうまく使った舞台出演児童のローテーションなどもその好例である。この日本的な一人一人を大切にする学校教育の在り方は、それを本校の中で間近に日常的に見ているタイ人の教職員の方々からも「日本の教育って、素晴らしい」と絶賛されている。



第3学年の発表：観客席に向かって座っている子供たちの左の空いている部分(黄色枠)の児童が舞台上で演技している。演技が終わるとステージ左脇の扉からから退場し、写真に写っている右脇の扉から登壇する新しい場面の担当児童と交代する。(10月2日 シラチャ祭児童生徒観賞日)

外部への「見せ方」を重視する諸外国の学校のなかには、こうした参観者を招いた活動に「選抜」した児童生徒を割り振るところもあるという。そのような考え方とは対照的に、全員が参加した実感を実質的に味わい、何かのきっかけで自分の属する集団にお

ける存在意義の自覚や自己肯定感、自己効力感を高める機会を与えようとしているシラチャ日本人学校の先生方による教育の場は、真に日本という国の民主的な社会の基礎を作っている場であると、学級や学年の発表や校外学習の場を見ながらいつも感じている。

児童生徒の皆さんも、そうした先生方の熱い思いと細やかな配慮に、いっそう応えて頑張ってもらいたいと思う。



中学生自身が考えた「生徒会企画」により、全校合同の24班による縦割り班活動を楽しむ小学部低学年の児童の様子。半世紀も昔の町内の子供会での「お楽しみ会」の雰囲気をほうふつとさせる。
(10月2日 シラチャ祭児童生徒観賞日)

今から一年後の子供たちのさらなる成長の姿が、ますます楽しみになってきた。

『ひとつになったシラチャ祭』

佐原 晃祐

スローガン『さあ冒険へいこう！ ～ To The New World ～』。運動会を経て大きく成長した自分を信じて、新たな冒険に踏み出してほしい。こうした実行委員の願いが届いたのではないのでしょうか。勇気を出してチャレンジする姿がたくさん見られ、当日は、練習の成果を精一杯発揮し、どの学年も見応えのある素敵な発表を披露してくれました。

まるで体操選手のような大技を舞台で見せる子。手作り衣装を身にまとい渾身のポーズでスポットライトを浴びる子。舞台裏にいても役に入り込んで演技を続けている子。台詞に合わせて抜群のタイミングでスライドを操作する子。グラフを使って調べたことを堂々と発表する子。キレッキレのダンスとラップでメッセージを真剣に伝える子。どの子も一生懸命でした。そして、最後に拍手をもらった時のすっきりとした表情がとても印象的でした。

また、児童生徒鑑賞日に行った小中合同の縦割り班活動は、シラチャ校ならではの貴重な時間となりました。中学生がリーダーシップを発揮し、学年や学部の壁を越えて楽しむことができました。最後に全校で歌った『カントリーロード』は、子供たちの元気な歌声が体育館を包み込み、とても心が温まりました。

今回のシラチャ祭を通して、子供たちは、自分たちの学びを深め、様々な経験をし、更にたくましく成長することができたと思います。何よりも、新しい冒険に向けて一歩を踏み出したこと自体に、大きな価値があると信じています。これからも、その一歩を大切にしていって、進んでいってくれることを願っています。



「一歩踏み出した先に」

中村 美奈子

今年の中学部のシラチャ祭は、実行委員会、ディパート、総合発表と3つに分かれ、昨年までにはない新しい中学部としての発表を行いました。前例がない分、新たな挑戦をする中で悩むことも多かったと思います。「本当にできるのか」「もう、無理なのではないか」そんな思いが浮かんだこともあったかもしれませんが、そこはシラチャ日本人学校中学部！難題に立ち向かい、シラチャ祭を成功させることができました。さあ、次は交流会です。シラチャ祭での経験を活かし、8年生がリーダーとなって、次の時代を創ってくれることを期待しています。

9年生のみなさんへ

シラチャ祭、本当にお疲れ様でした！少人数精鋭！個性豊か！存在感たっぷり、全校生徒を笑顔にできる最高の9年生です。みなさんがいたから、新しい形でのシラチャ祭中学部発表が成功しました。後輩の良き手本となり、仲間同士支え合いながらシラチャ日本人学校に新しい歴史を刻んでくれたことに、感謝！シラチャ日本人学校の仲間とともに培った経験は、これからのみなさんの財産となります。さあ、これからは、自分自身の進路の実現へ向けて、新たな一歩を踏み出す時です。





今年度着任された先生方の文章を
順番に紹介していきます。

一人一人が輝く

岩田 穂乃里

「主人公は君だ！～Break your limit～」、今年の運動会のスローガンを見て、ふと学生時代に力を注いだバスケットボールを思い出しました。

バスケットボールのレギュラーは5人。ひと学年20人近くいた中学時代は、大会の度にレギュラー争いが起こっていました。当時の部活の先生のお話の中で、今でも心に残っている言葉があります。

「全国で最も強いチームは、優勝チームのレギュラーではなく、その2軍チームだ。」

この言葉から、「試合に出られないけれどもひたむきに頑張る存在がチームを大きくしている。どんなポジションであれ、チームにとって必要不可欠な存在である。」ということを知ったように感じています。

成功の陰には、一人一人の頑張りがあります。シラチャ校に赴任して半年が経ちましたが、日々の学校生活の中で、子供たちが懸命に取り組む姿を目の当たりにしています。子供たち一人一人が、自らの物語の主人公です。その物語が少しでも輝きを増すように手助けができる教師でありたいと思います。

「先生の夢は何？」

中山 さゆり

私の小学校2年生の頃の作文を見ると、将来の夢は「明るくて元気な小学校の先生になること」でした。

教員になって数年、子供たちと夢について話していると、「先生の夢は何？」と聞かれることが何度もあります。夢だった職業に就きましたが、実は私には高校生の頃にできたもう一つの夢もあったのです。それは、日本人学校で働くこと。高校生のときにできた日本人学校出身の友人が、外国や学校での生活について話してくれたことがきっかけです。日本の良さを再発見し、海外の素晴らしいところに気づけるということを知り、日本人学校で働きたい！と思うようになりました。子供たちの「先生の夢は何？」という一言が、夢を追いかける気持ちや喜びを思い出させてくれました。

子供たちはいつでも、豊かな発想や素直な言葉を伝えてくれます。わたしは、子供たちの夢が、一生懸命努力すれば叶うと信じています。そして教員として、その夢を叶えるための一助となっていきます。

波にのる

氏名 茂木香枝

サーフィンをしていると、サーフィンは人生のようだと感じることがあります。

波が良い時は、簡単に板に乗ることができますが、波が良くない時は、どんなに頑張っても乗れないこともあります。人生も同じように、良い時期もあれば、悪い時期もあります。何をやってもうまくいく時もあれば、何をしてもうまくいかず、自分に腹が立ったり、落ち込んだりすることもあります。

上手な人は、どんな波でもうまく乗りこなします。上達する人は、どんな波にも挑戦し続けています。そして、幸せな人は、どんな波でも楽しんでいきます。

人生もサーフィンも、良い波に乗れるように、挑戦し続けること、そして楽しむことが大切だと感じます。良い波に乗れるよう、自分で工夫したり、調べたり、時には人に助けを求めたり。そして最終的には、自分の足でしっかりと立つことを目指しているのです。

私のよく行く海は、乾季が近づくと波が穏やかになります。今は、まさにその時期です。よい波がなければ、波に乗ることも挑戦することもできません。でも、今は準備の期間だと捉えています。人生の中にも、同じような時期があるのではないのでしょうか。ゆっくりと準備をし、時には休むことも必要です。

必ずまた良い波が来ることを信じながら、自分にできることを行いつつ、その時を待っています。



11月の行事予定



感謝の会

日 曜	児童・生徒の予定	バス時刻
1日(金)	・全校5時間授業・学級だより配信(小学部)	14:20 P1-6 M1-3
2日(土)		
3日(日)		
4日(月)	・放課後指導(3年)・悩み相談月間始(22日まで)	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
5日(火)	・放課後指導(1年)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
6日(水)	・感謝の会	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
7日(木)	・体力テスト・放課後指導(2年)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
8日(金)		14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
9日(土)		
10日(日)		
11日(月)	・竹細工(4-1)・放課後指導(3年)	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
12日(火)	・竹細工(4-2)・放課後指導(1年)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
13日(水)	・竹細工(4-3)・購買(注文票配布日)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
14日(木)	・第3回定期考査(7,8,9年)・購買(注文票提出日)・放課後指導(2年)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
15日(金)	・ロイクラトン・クラトン作り(全学年)・学級だより配信(小学部)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
16日(土)		
17日(日)		
18日(月)	・クラブ(小学部)・放課後指導(3年)	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
19日(火)	・放課後指導(1年)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
20日(水)	・縦割り班活動(1~6年)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
21日(木)	・第2回授業参観・アクティブタイム(中学部)・放課後指導(2年)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
22日(金)	・委員会(小学部)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
23日(土)		
24日(日)		
25日(月)	・放課後指導(3年)	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
26日(火)	・放課後指導(1年)・定例委員会(中学部)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
27日(水)	・購買(注文票配布日)・交流会(小学部)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
28日(木)	・購買(注文票提出日)・放課後指導(2年)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
29日(金)	・学校・学年だより配信・学級だより配信(小学部・中学部)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
30日(土)		

★は特別バスです。通常の下校バスと時刻が違うときについています。

早期一時帰国者・退学者の通知表作成について

最終登校日	一時帰国	退学
11月13日(水)以前	<ul style="list-style-type: none"> ○通知表を作成します。 ○出欠の記録、所見、特活の記録等を記入します。 ○評価評定はしません。 ○12月24日(火)以降に、児童生徒または保護者にお渡しをします。 ※受け取りについては、担任とご相談ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ○通知表は作成しません。 ○口頭で学習状況等をお伝えします。
11月14日(木)以降	<ul style="list-style-type: none"> ○通知表を作成します。 ○上記の内容に追加し、評価できる項目を記入します。 ○12月24日(火)以降に、児童生徒または保護者にお渡しをします。 ※受け取りについては、担任とご相談ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ○12月24日(火)以降に郵送します。帰国後の住所と電話番号をお伝えください。 ※郵送方法については、担任とご相談ください。

6日(水)に、小中合同で感謝の会を予定しています。普段お世話になっているスタッフの方々に、しっかりと感謝の気持ちを伝えられるよう、みんなの気持ちを一つに取り組みると良いですね。

小4 校外学習

小学部4年生は、11日(月)~13日(水)に校外学習として竹細工を体験してきます。教室では味わうことのできない学習です。ぜひ、アンテナを高くして色々な発見をし、価値のある時間にしてきてください。

第3回定期考査

14日(木)は、中学部の第3回定期考査です。技能教科を除く5教科のテストがありますので、計画的に勉強を進めておきましょう。

クラトンづくり(全学年)

15日(金)は、タイ語の先生よりロイクラトンについて教わり、実際にクラトンづくりを体験します。各自どのようなクラトンを作り上げるのか、完成がとても楽しみです。

第2回授業参観

21日(木)は、授業参観を予定しています。お子様の学校での頑張りをご覧いただければと思います。詳細につきましては、10月25日にClassroomに配信済みの案内をご確認ください。

小学部交流会

27日(水)は現地校であるパサーズック校を訪問し、交流会を行います。各学年が用意したゲームや文化交流の企画を通して、お互いの文化を理解し合います。中学部は12月に交流会を予定しています。

